

地域安全学会

2014年度第5回理事会 議事録

日 時：2015年1月24日（土） 14：15～17：00

場 所：同志社大学東京オフィス（東京都中央区京橋2丁目7番19号 京橋イーストビル3階）

出席者：立木茂雄、糸井川栄一、目黒公郎、池田浩敬、梅本通孝、大原美保、柄谷友香、越村俊一、
庄司学、田中聡、西川智、能島暢呂、牧紀男、松岡昌志、宮野道雄、村尾修、山崎文雄

委任状：岩田孝仁、岡田成幸、加藤孝明、鍬田泰子、重川希志依、村上ひとみ、森伸一郎

欠 席：市古太郎、大西一嘉、清野純史、秦康範、矢代晴実

事務局：竹本 加良子、上木 美貴恵

配布資料：26-5-0 会員数、会費納入状況（竹本・上木）

26-5-1 2014年度第5回理事会議事次第（立木）

26-5-2 2014年度第4回理事会議事録案（立木）

26-5-3 2015年度地域安全学会役員選挙の結果報告（宮野）

26-5-4 2015年度地域安全学会役員選挙候補者名簿（宮野）

26-5-5 ISSS2014年度第5回理事会_研究運営委員会（能島）

26-5-6 学術フォーラム議事録（案）（糸井川）

26-5-7 鳥取県危機管理対策課より依頼（糸井川）

26-5-8-1 鳥取県西部地震15年周年フォーラムの開催内容案（糸井川）

26-5-8-2 鳥取県西部地震15年周年フォーラムへの参画のお願い（糸井川）

26-5-9 ニュースレター（No.90,2015年2月中旬）の「内容と担当者」（案）（村尾）

議題：

1. 前回議事録の確認（立木）

（1）議事録の作成から監事に承認を受けるまでの流れについて

議事録の作成から監事に承認を受けるまでの流れを下記の通りとした。

- ・理事会終了後1週間以内に事務局にて議事録を作成し、理事会 ML に送付する
- ・各理事は、議事録の内容を確認し、修正事項あれば事務局に連絡する
- ・次回理事会に、修正した議事録を提出し、理事及び監事の承認を受ける
- ・議事録の原本は、会長及び監事の押印後、事務局にて10年間保管する。

（2）議事録の内容について

資料 26-5-2 の第4回理事会議事録（案）について、下記2点の修正点以外は、原案通り承認された。

- ・2 ページ目 「ボルダラドホテル」 → 「ボルドラドホテル」に修正
- ・フッターにページ番号を入れる

2. 会勢・会員管理関係（竹本・上木）

2-1. 会費未納者の状況報告（上木）

（1）会員数、未納者数の報告

2015/1/20(火)時点での2014年度の会員数・会費納入状況は以下の通りである。

会員種別	会員数		内、今年度新規会員数	会費納入者数		会費未納者数	未納の割合
	合計	10/31時点からの増減		合計	10/31時点からの増減		
賛助会員(※)	1	0	1	1	0	0	0.0%
正会員	597	+4	37	464	+28	133	22.3%
学生会員	109	+2	36	63	+6	46	42.2%
総数	707	+6	74	528	+34	179	25.3%
割合	100.0%			74.7%	+4.2%	25.3%	

※5/30に株式会社パスコ様が賛助会員としてご入会

【回収済会費】

賛助会員（10万円）×1社+正会員（5,000円）×464人+学生会員（2,000円）×63人=2,546,000円

【未収会費】

賛助会員（10万円）×0社+正会員（5,000円）×133人+学生会員（2,000円）×46人=757,000円

2015/1/20(火)時点での2013年度の会員数・会費納入状況は以下の通りである。

会員種別	会員数(※)	会費納入者数		会費未納者数	未納の割合
		合計	10/31時点からの増減		
正会員	565	462	0	94	16.6%
学生会員	88	53	0	35	39.8%
総数	653	515	0	129	19.8%
割合	100.0%	78.9%	0.0%	19.8%	

※2014/3/31時点の会員数のため、4月以降の退会者も含まれています。

【回収済会費】

賛助会員（10万円）×0社+正会員（5,000円）×462人+学生会員（2,000円）×53人=2,416,000円

【未収会費】

賛助会員（10万円）×0社+正会員（5,000円）×94人+学生会員（2,000円）×35人=540,000円

（2）未納者への対応

前回理事会（11/7）以降、理事から未納者に対して、個別に年会費納入を依頼したところ、28名から入金があった。

会費未納の179名には、2年以上会費を滞納している会員が多数含まれており、2年以上の滞納で退会となる会員を減らすため、2年以上滞納している会員のリストを事務局から理事会MLに送り、理事から個別に会費納入の依頼をすることとなった。

そのうえで、次回の理事会時点で2年以上の滞納者を退会とすることを審議する。

2-2. 決算の集計方法について（竹本）

今年度は、昨年度の決算の集計方法で特に不都合は生じなかったため、今年度の決算も引き続き昨年度と同じ集計方法とする。

3. 選挙管理委員会関係（宮野）

3-1. 2015年度地域安全学会役員選挙候補者（案）（宮野）

10月21日に役員選挙の公示をおこなったが、候補者の届け出はなかった。

3-2. 2015年度地域安全学会役員選挙候補者（案）（宮野）

候補者の届け出がなかったため、宮野理事から提出された資料26-5-4の2015年度地域安全学会役員選挙候補者名簿を基に、候補者の選定を行った。審議の結果、新監事候補を重川理事と、山崎現監事の2名とする案が承認された（井野監事はH28年度に改選）。

4. 学術委員会関係（田中）

（1）電子ジャーナル No.25の報告

投稿論文3本、移行論文4本の計7本の二次審査の結果、搭載不可が2本、修正が必要な論文が3本、登載決定が2本という結果になった。

（2）電子ジャーナル No.26の報告

投稿された9本の論文の査読者が決定したため、査読の手続きに入る。一次審査の結果は3月28日の学術委員会にて決定する。

（3）電子ジャーナルの発行体制について

田中理事より、下記の理由により、7月発刊の電子ジャーナルを停止する案が提案され、承認された。

- ・投稿数が10本以下のため、システムの運用費と見合わない
- ・研究発表会論文と電子ジャーナル論文が並行して稼働することにより、事務局作業が複雑になり、ミスが増える
- ・移行論文の期間が空かないよう、3月発刊の電子ジャーナルを残す

2015年の12月以降、7月発刊の電子ジャーナルを停止する。

（4）次年度の学術委員長について

田中理事より、次年度の学術委員長を牧理事、副委員長を松岡理事にそれぞれご担当いただくことの提案があり、理事会で承認された。

なお、電子ジャーナルは3月発刊のもののみとなったため、副委員長は1名体制となった。

（5）論文奨励賞・年間優秀論文賞について

論文奨励賞・年間優秀論文賞の審査結果は3月の理事会で報告する。

5. 表彰委員会関係（池田）

技術賞の応募の締め切りが12月20日だったが、ニューズレター等で告知がされていなかった。この件について、委員長・副委員長不在のため、代理で池田理事から、技術賞の応募締め切りの延長及び周知について下記の提案があり、理事会で承認された。

- ・ 応募の締め切りを2月16日に延長する
- ・ 技術賞の応募の告知を学会HP及び会員へのメール送付で行う
- ・ 技術賞の募集要項はニューズレター2013年10月号を流用する
- ・ 資料の提出は郵送ではなくメールとする
- ・ 資料の提出の送付先は事務局とする
- ・ 応募の締め切り後、事務局に届いた応募メールは池田理事にお送りする
- ・ 池田理事が応募状況等を取りまとめて審査員に送付する
- ・ 審査員は3月中旬までに審査を行う
- ・ 3月の理事会で審査結果を報告する

6. 広報委員会関係（村尾）

資料26-5-9 ニューズレター（No. 90, 2015年2月中旬）の「内容と担当者」（案）を基に、掲載項目と原稿作成担当者の確認を行い、下記の点が変更になった。

- ・ 項目1の「(1)査読論文部門発表会での討論」の原稿作成担当：田中理事
- ・ 項目1の(2)に論文奨励賞の審査結果の報告を追加する。原稿作成担当：田中理事
- ・ 項目1の「(2)第35回地域安全学会研究発表会(秋季)における「優秀発表賞」審査結果の報告」を(3)とする。原稿作成担当：池田理事
- ・ 項目「4. 第34回地域安全学会研究発表会（春季）における優秀発表賞について」の原稿作成担当：池田理事
- ・ 項目「5. 2015年度地域安全学会役員選挙の結果報告」は今回掲載せず、次回のニューズレターで掲載する。

7. 研究運営委員会（能島）

1月9日に研究小委員会の新規研究テーマの募集を締め切ったが応募は無かった。審議の結果、新規研究テーマの追加募集を行うこととなった。

3月20日を募集の締め切り日とし、3月の理事会で追加募集の結果を報告する。

ニューズレターNo. 90の削除となった項目5に新規研修テーマの追加募集を掲載し、全会員へ告知する。

8. 国際交流委員会（牧）

国連防災世界会議のパブリックフォーラムの一つとして開催が承認された。

- ・ 開催日：3月18日 午後
- ・ 場所：TKP ガーデンシティ仙台勾当台 ホール3

2コマ分の費用14万円は、台湾防災学会と地域安全学会で7万円ずつ負担することの報告があり、理事会にて承認された。

演者等については決定次第、理事会にて報告する。

9. 2015年度総会・春季研究発表会（立木）

前回の理事会で開催場所は伊豆大島に決定した。

実行委員に中林先生にご参加いただくことの提案があり、理事会で承認された。

開催日は、5月29日・30日で決定した。

10. 安全工学シンポジウムについて（矢代）

報告事項なし

11. 防災学協会連合組織（加藤・糸井川）学術フォーラム（糸井川・目黒）

11月29日に日本学術会議 学術フォーラムが開催された。

ディスカッション「大震災の経験を国際的にどう活かすか」に糸井川理事が参加され、下記の意見を述べられたことの報告があった。

- ・地域安全学会の通常の活動と国際的な活動の紹介
- ・総合知や学問の統合化を国際的に活かすかどうかの必要性の議論だけでなく、具体的な実現方法を議論することが重要であること

セッションの取りまとめをされた目黒理事よりフォーラム全体の概要と下記の報告があった。

- ・30学会の提言を3月の国連防災世界会議に提出する
- ・今後は具体的なアクションにつながるよう、テーマを具体化し、学者のプレッシャーグループとなることを考えていること

12. 鳥取県からの依頼について（糸井川）

鳥取県から地域安全学会に対し、10月3日、5日、6日に開催を予定している「鳥取県西部地震15年フォーラム」への参画依頼があった。

理事会で参画方法を検討し、下記の事項を立木会長から鳥取県にご連絡いただくこととなった。

- ・東日本連続ワークショップの開催予定時期と重なるため、1つの企画の主催者として地域安全学会が参画することは難しい状況であること
- ・フォーラムが主催するシンポジウムなどへの講師派遣は協力可能であること

13. その他

13-1. 監事の追加について（宮野）

監事の追加について会長・副会長と相談し、3月の理事会にて報告する。

13-2. 理事会推薦の候補者について（宮野）

理事会推薦の候補者に下記の3名を追加する。

- ・藤本先生（学術委員として5年活動されている実績があるため）
- ・指田先生（学術委員として6年活動されている実績があるため）
- ・稲垣先生（地域安全学会の国際活動に積極的にご参加いただいているため）

理事会推薦の候補者に上記3名を追加したうえで、会長・副会長、場合によっては学術委員長と相談し、3月の理事会にて報告する。

次回：3月28日 14時30分～ 同志社大学

代表理事

立木 茂雄



監 事

山崎 文雄

